

発行：勝浦市議会会派：市民市政会（寺尾重雄・鈴木克己・岩瀬 清）

4月の市議会議員選挙により新たな議員による市議会がスタートしました。

市議会における会派も再編があり、我々は3名で新会派「市民市政会」を結成しました。今後の議員活動に於いては、常に市民目線で「市民のための市政実現」のために積極的な市議会活動を行ってまいります。

「議員選挙が終わり、議員が決まっても議員や議会自体が何をやっているか市民には全くわからない。」このような声を多くの市民の皆様から聞くことがあります。

我々3名は、年4回(3・6・9・12月)の市議会本会議の中では、常に市民の皆様の声の基本に発言、発信し、市に於ける問題点や改善点を探求し、市議会の状況などを周知することも議員の努めであることを自覚し、議会報告書の発行や報告会(最後のページに案内あり)を開催してまいります。

令和4年度 決算審査特別委員会に関する報告

毎年、9月議会では前年度の一般会計及び各特別会計の決算状況を審査します。これは、通年で行われている監査委員による各課及び各会計の監査とは異なり、委員となった議員に対し、通常ではできない市役所内部の諸帳簿などを調査する権限が与えられた審査です。

決算審査特別委員会は委員7名で構成し、2日間委員会を開催しました。、会派・市民市政会からは、岩瀬清議員と鈴木克己議員が委員となり審査を行いました。

令和4年度 一般会計決算額

歳入(収入額)は、193億1千万円で、前年度(令和3年度)より40.8%増加しました。

歳出(支出額)は、187億5千万円で、前年度(令和3年度)より42.4%増加しました。

※上記の歳入歳出決算額は、勝浦市の一般会計としては過去に例のない数値です。

決算額の増加の大きな要因は、ふるさと納税寄付金の大きな増加です。

過去3年間のふるさと納税寄付金

年 度	寄 付 金 額	お礼品贈呈等の経費	市の財源となった金額
令和2年	9億6,312万円	5億7,531万円	3億8,781万円
令和3年	23億5,605万円	13億7,281万円	9億8,324万円
令和4年	55億3,417万円	31億8,311万円	23億5,106万円

令和4年度の寄付金総額は、これまでの最高で、55億3,417万円(全国の自治体ランキングで19位、関東では1位)となっています。

この中で、市の事業に使える金額は、上記右側の財源となった金額です。

決算委員会における会派からの主な質疑

Q1 市長就任後、どの様なことを重点に財政対応をして来たのか？

A1	1. 新型コロナ感染防止対策と子育て環境の充実のため、妊婦のいる世帯、子育て、ひとり親世帯に臨時給付金支給。学校給食費の全額補助など。 2. 産業振興で、勝浦漁港の整備に対する補助、ダイビング施設整備補助、プレミアム商品券、キャッシュレスによる観光振興事業の実施。 3. 滞在型観光施設エデンの完成。地域おこし協力隊によるプロモーション活動、地域住民が主体となったまちづくり活動への補助など。
Q2	滞在型観光施設エデンの入込数は、計画入込数と比較するとかけ離れている。総収入の5%を市に収めることとなっていることでもあるため、管理運営について指定管理者と十分な協議が必要と思うが？
A2	エデンの収益(入込)増は市内消費の増にもつながるので、市も経営にある程度参加して収益増を図る。
Q3	商店街賑わい創出事業は、市の補助金3,102万円で事業を実施し内訳としてECモールサイト・共同配送に1,199万円、ドローン配送に1,897万円が主な経費であったが事業の成果を改めて問う。
A3	モールサイト、共同配送は当初の目標は達成した。ドローン配送については1機も飛んでいないが、この事業については今後判断していく。

決算審査特別委員会の審査終了後、令和4年度一般会計及び特別会計決算を認定するか否か諮られ、一般会計の採決は、賛成(認定)3名対反対(非認定)3名で同数となり委員長採決で認定することとなり、各特別会計は、反対1名で、賛成多数で認定となりました。この結果は、最終日の本会議に報告され全議案とも賛成多数で認定となりました。

市民市政会からの委員となった、鈴木克己と岩瀬清は、令和4年度一般会計決算で、特に滞在型観光施設エデンの建設に関する不透明な問題と、今なぜ市の多額な予算を使ってまで実証実験をする必要があるか、商店街賑わい創出事業に於いて、十分な説明が無いなど理解しがたい部分が多いことなどから、それぞれ個人の判断で非認定(反対)しました。



決算審査討論

意見として、基本的な財政は厳しい中において、非常にありがたいふるさと納税の寄附金ですが、いつこれがなくなるかもしれないということをまず肝に銘じて予算編成を考える必要があるのではないかと。

9月議会の一般質問

9月議会に於いて、会派からは岩瀬清と鈴木克己が一般質問を行いました。

岩瀬清議員の質問 要旨

物価高騰下における農業・漁業等に対する支援について		
Q1	今年度はどのような対策を考えているか伺う。	
A1	価格高騰対策として、飼肥料価格高騰対策支援金及び漁業用燃料価格高騰対策支援補助金を交付した。 農業者への支援事業として、県に於いて農業用生産資材価格高騰緊急支援事業、施設園芸等燃油価格高騰対策事業、飼料価格高騰対策事業、肥料価格高騰対策事業を実施。 漁業者への支援事業として、千葉県漁業協同組合連合会が漁業者購入燃油費軽減対策助成金を給付。今後、国、県の動向を注視し、市の対応も検討する。	

高齢者に対する支援について	
Q2	買い物不便地域の対策をどのように考えるか。今後の高齢者支援策は？
A2	買物困難地域の支援は、総野地区の一部において、昨年度より市内のドラッグストアにより移動販売が開始されている。このことを含め、行政による各種事業だけではなく、それぞれの地域の実情に応じ、地域の方々や民間事業者の協力をいただきながら支援してまいりたい。 今後の新たな施策は、スマートスピーカーによるデジタル技術を活用した見守りサービスの開始に向け準備を進めるなど、新しい技術も取り入れながら、各種事業を実施してまいりたい。
その他、市内道路整備と小中学校教育予算について質問しました。	

鈴木克己議員の質問 要旨	
商店街等にぎわい創出事業の現状と今後について	
この事業は令和4年度から6年度の3か年継続事業として実施されている。事業主体は、商工会内に設置した「勝浦市商店街活性化推進協議会」に補助率100%の市補助金を出して実施している。 事業費は令和4年度3,102万円・令和5年度4,210万円。	
Q1	
A1	協議会構成員に市議会議員が3名含まれているが、補助金を出すにあたり利害関係を含めて問題はないのか。
A1	法令上の問題は無いと認識している。
Q2	事業は、商店街のECモール化によるオンライン注文を受けEV軽自動車による配送及びドローンを使用した配送事業であるが、これまでも、問題が指摘されている中、反対を押し切り予算化したドローン配送については実証実験とのことであるが、ドローン配送は、まだまだ課題もあることから、直ちに事業を中止し、事業を再構築する必要があると思うが如何か。
A2	今年度は、事業をやり遂げ次年度以降については今後判断する。

ドローンを活用した新たな行政対応について	
Q1	大規模災害が発生した場合の初期対応にドローンによる現状確認などを行うことへの活用について検討する価値があると思うが如何か。
A1	防災面での活用を前向きに検討する。
Q2	産業用に開発されたドローンを、(物流を除き)漁業、農業、観光業などの勝浦市の産業の中で活用する考えについて伺う。
A2	農業では、農薬散布、生育状況の確認、有害鳥獣対策等、水産業では保安対策等また海岸の監視活動や新たな観光事業への取り組みにも期待できるので今後調査研究をします。



ドローンによる農薬・肥料散布

10月29日の津波防災訓練で、災害等対応ドローンの実証フライトが行われました。

何時起きるかわからない災害に備えて、また、海水浴場の監視活動などにも大いに役立つものと期待できます。

勝浦市議会海業（うみぎょう）推進議員連盟（海業議連）の発足

寺尾重雄議員の提案

提案の趣旨：令和5年5月26日に「漁港漁場整備法及び水産業協同組合法」の一部改正が行われ、漁港の価値や魅力を活かした海業を推進し、水産物消費の増進や交流人口の拡大を図り、漁港において陸上養殖の展開等の漁港機能の強化を図ることができることとなりました。

多くの漁港を持つ勝浦として、この海業を振興していくことにより漁港の活性化と市全体の活性化を目指し、市において海業の展開を図ることで、人々が漁港を訪れ、様々な体験を通じて水産業への理解と水産物消費の増進を図れると考えます。

このことを推進するために、まずは議員がこのことを十分に理解した上で、市と共同して勝浦市の活性化のために行動し活動することが必要であるとの思いから、**寺尾議員が発起人**となり、15名の市議会議員全員に会派を超えて個々の意志で議員連盟への参加を呼びかけました。

その結果、この趣旨を理解し勝浦市の活性化のためにと以下の議員が賛同し「勝浦市海業推進議員連盟」を発足することとなりました。

議員連盟に参加した議員（敬称略・50音順）

岩瀬清・鈴木克己・寺尾重雄・戸部薫・松崎栄二・渡辺ヒロ子

今後、海業を推進するため、国、県、市や漁協との協議を重ね、時には市民の方々からの意見も参考に、より良い勝浦の活性化を目指してまいります。

トピックス

ホームセンター**コメリ**が出店します。

日頃から、市民の皆様からご要望の大きかったホームセンターができることとなりました。このホームセンター誘致には、我々会派の寺尾議員が建設地の地権者の方々の協力を得るために奔走し、ホームセンター出店に尽力しました。

店舗の場所は、国道297号串浜地先の味彩館向かい側になります。今後、店舗を建設し来年秋ごろに営業が開始される予定とのことです。

お知らせ

市政報告と「明日の勝浦のための意見交換会」の開催

日時

令和5年11月23日（木）午後2時から

場所

キュステ 1階 大会議室（右側の奥）

市議会議員の活動の1つとして、市議会での議論のことや報告書では記載できない内容などの説明等を行います。また、日頃から市や議員に対してのご意見なども直接お伺いしたいと思います。**参加要件に制限はありませんので、一度来てみてください。**

勝浦市議会：会派 市民市政会

代 表 寺尾 重雄（090-3109-4779） FAX 73-4331 部原1187

鈴木 克己（090-1428-6135） FAX 76-2209 植野1448

岩瀬 清（090-5829-4572） FAX 77-0260 松野650-4

この記事等に関するお問い合わせは、電話・FAX 又はメール p_mint@live.jp まで